

卒業 第4期平和学校

— 世界大会動く分科会も担当、羽ばたけ 3 名の受講者 —



佐藤さん(健康友の会)



田畑さん(風の丘)



野口さん(上戸町3階)



平野会長から卒業証書授与

6/28(土曜)、県連理事会の冒頭に第4期平和学校の卒業発表・卒業式を開催しました。

今回は3名、佐藤さん(友の会)・田畑さん(風の丘)・野口さん(回復期病棟)が計5回の講座を経て卒業です。卒業生は今年の世界大会で被爆遺構巡りのガイドも担う決意をしています。

新卒3名の皆さん、これからも平和な世の中のためにともに奮闘しましょう！



私と平和

先日、久しぶりに碑めぐりに参加しました。上空500m、1,000,000°C、風速440m/秒、73,844人と想像もできない数字が出てきますが、爆心地から上空を見上げ、長崎医科大学の門柱の傾きで爆風の凄まじさを実感し、浦上天主堂ではクリスタンの歴史と原爆被害の大きさを知る。爆心地公園の地層からは焼け野原となる直前まで、人々の生活の営みがあったことを実感する。実際にその場に立ち、ガイドの方の話を聞き、目で見ることで想像が膨らみます。猛暑の日であれば被爆当時の過酷さを思い知ることができます(本当に涼しいほうがいいのですが…)

今年は、被爆80周年の原水禁大会ということで、長崎にも多くの方が訪れ、碑めぐりにも参加されるとのことです。私も初めての碑めぐりガイドをすることとなりました。「このガイドブック(長崎民医連反核平和委員会作成)」の内容で十分だから!とガイドの方も励ましてくださった。8/9のその時まで日常の営みがあったこと、その後も放射線の後遺症や差別で苦しまなければならなかったことを、ガイドブックを読み込んで、しっかり伝えたいと思います。



リハ部主査 古川 裕